

(様式第4号)

上田市男女共同参画推進委員会 会議概要

1 審議会名	上田市男女共同参画推進委員会
2 日時	令和2年2月17日 午後1時30分から午後3時30分まで
3 会場	市民プラザ・ゆう 2階 教養室
4 出席者	富松裕子会長、田中晋副会長、足立則男委員、新井敦子委員 廉澤輝樹委員、西山智彦委員、藤原美津子委員、横山清江委員
5 市側出席者	佐藤人権男女共生課長、渡辺男女共同参画係長、松澤人権男女共同参画課主査、 小林丸子市民サービス課市民窓口係長、横田真田市民サービス課市民窓口担当係長
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和2年2月20日

協議事項等

1 開会
2 諮問事項について
・ 佐藤課長から説明
3 会議事項
(1) 令和元年度上田市男女共同参画推進事業者表彰について
(会長) 男女共同参画推進事業者表彰は16年目を迎える。他の事業者の参考になる取組を表彰していきたい。
ア 下紺屋町自治会
・ 資料に沿い渡辺係長から説明
・ 聴き取り調査をした委員より聴き取り調査内容について調書に沿い報告、以降、協議
(委員) 役員の選出方法について、どんな形で役員は決まるのか。
(委員) 三役をはじめ、様々な役員がある。それぞれの分野のところでの話し合いで決められている。
(委員) 役員の決め方はそれぞれの地域で異なる。下紺屋町自治会は古くからの自治会であり、決め方については、大変なこともあったようだ。高齢化も進んで、女性が多く出てきてもらうという状況にもなり、規約を変えることでも少し変わってくることもあるのではないかと思う。
(委員) 規約の整備というのは、動きだすための発起人とかは誰か決められるのか。
(委員) 規約については、それぞれの自治会で決めるべきこと。自治会独自で決められること。
(委員) 下紺屋町自治会も、今回応募したことで、改めて規約の上で女性をきちんと登用するというところを感じたようだ。
(委員) すでに三役の中に女性の名前が入っており、理事にも女性が多い。
(委員) (高齢化の問題について) 70歳までと定年制を設けてみたが、実際にはそのとおりは難しいとのことだ。
(委員) 自分のところの自治会では評議委員会というものがあるが、この自治会にはなしで、この名簿にある人の意見が直接反映されるのであれば、意見があがりやすくいいと思う。
(会長) 表彰に値すると思う。課題として、今後も継続して女性が登用されるような規約の整備がされることを期待したい。
イ 女と男うえだ市民の会パソコン同好会
・ 資料に沿い渡辺係長から説明
・ 聴き取り調査をした委員より聴き取り調査内容について調書に沿い報告、以降、協議
(委員) 聴き取り調査をした委員からの報告で納得した。パソコンだけでなく、他のところにつながっていくというのはとてもいい活動だ。
(委員) いろんな人とふれあうきっかけ作りが重要だ。それをするので、多方面にチャレンジしたりすることができ、活動が広がる。そのきっかけとして、パソコンを媒体として人が集まってもらえる

ということは、非常にいいと思う。ひとつのきっかけから、いろんなところに興味が増えて、年齢、性別を問わずに、いろんな活動が広がっていくひとつのきっかけになると思うので、このような活動はいいと思う。

(委員) 会員構成約50名ということで、16年間ずっと50名というのはすごいことだ。

(委員) その時からずっと続けている人もいるとは思いますが、入れ替わりはあったとは思いますが。

(委員) 女性活躍ということで、女性になんとか参加しないかと言うと、かえってプレッシャーとなってしまい、女性が参加しないといけないんだということを強くやりすぎてしまうと負担がかかりすぎてしまうので、自然に入っていけるような形にすると、長く続けられるのだと思うし、大切なことだと思う。

(委員) 10名からスタートして50名というのはすごい。推薦はどちらからなのか。

(委員) 当初から継続している会員の方からの推薦となっている。

(委員) 表彰に値する団体だと思う。

(会長) パソコンだけの同好会が、なぜ男女共同参画なのかというところは、しっかり説明しないといけない。

(会長) 表彰に値すると思う。

(2) その他

- ・答申及び表彰式の流れについて課長及び係長が説明

4 閉 会